

『管理栄養士研修』 報告

平成27年2月5日(木)、6日(金)、コンフォート食物栄養研究所の北川恵子管理栄養士を講師にお招きし、社内研修を実施致しました。

「生活習慣病と知食の在り方」

生活リズム、体の消化機能から食材と効能、生活習慣病の話まで幅広く学びました。知食とは『食の知識を学び、知恵を生かして食べること』であり、病気の予防に患者様本人が積極的に関わっていくことが必要だと改めて考えさせられる内容でした。



「コンフォート栄養食物研究所 栄養指導の実証例」

1) 相談所における実症例

がん症例、肥満症・糖尿病改善実証例、糖尿病合併症改善症例、高血圧・慢性腎症・肝機能障害改善症例を実際のデータと共にご紹介いただきました。血液検査値からの的確な栄養指導と改善症例に圧倒されました。



2) 嘱託栄養指導の実証例(診療所・及び在宅指導)

ダイエット実証例、在宅訪問指導実証例を実際のデータと共にご紹介いただきました。患者様一人ひとりに真摯に向き合う北川管理栄養士の姿が目にと焼き付きました。



「栄養指導の実践」

1. 栄養指導の流れ、問診・記録の仕方、心のケア

栄養担当医師からの食事指導箋、問診の仕方や栄養指導料の算定、患者様の心のケア方法まで学びました。

実際にウエスト周りの測定方法を体感し、楽しく測ることが患者様とのコミュニケーションに大切であることを実感しました。



2. 専門知識の伝え方・検査データの見方

血液検査データの見方と記録法を丁寧に教えていただきました。専門性を発揮するプロフェッショナルになることがこれからの管理栄養士の在り方という言葉が強く心に響きました。



2日間にわたり、北川恵子管理栄養士の貴重な講義と実症例を惜しみなく教えていただきました。『食は医なり、食は薬なり』という北川先生の養生訓を心におき、同じ管理栄養士として皆様の健康増進に貢献できるよう日々精進していきたいと思っております。

